常磐毎日新聞

日刊

八月十二日夕刊

定價 一部金貳錢 一ケ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料 普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治 福島縣平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二二〇番

絢爛華麗 平の七夕祭
一宵千金の花模樣 何れ劣らぬ飾付け
▽……晴れの逢瀨を空にして
▽……地には歡喜と祝福溢る
絶好の日和 繰り出した人の波

待ちあぐんでゐた樂しい七夕祭の日が遂に來た、牽牛織女兩星ならでもおよそ平市民ならこよなくうれしい限りだ、七夕祭一日目の十一日は夕方頃迄にすつかり飾付けが終つて用意全く成り中天に銀河ほのぼのと浮びあがるのを待つのみとなつたこれよりさき何年振りかで惠まれた絶好の日和に繰出した人・人・人の波中央部の本町通り一帶は眞黒に埋め盡されたので、例年よりも早く車馬の通行止めと一方行進が實施され平署や青年團の交通整理隊は汗だくで奮鬪したが、刻一刻あとから〳〵と潮のごとく押しよせて來る人の渦で眼の廻るやうな忙しさ晝過ぎころから灼きつくやうな夏の陽射しがすつと薄らいだので見物にはいよ〳〵お誂ひ向きの天候、それに涼風颯々と鳴渡り時ならぬ五彩の吹雪を起して街頭は歡喜の色紙で蔽はれた、どこを見渡しても何れおとらぬ飾りつけ趣向を凝らした仕掛物で眼も奪ふばかり鮮かである、やがて灯ともし頃ともなれば照明裝置が働き出して更に優美華麗の度を增し五彩の短冊はネオンに照り映えて絢爛いはんかたなく、これこそげに一宵千金の花模樣、かくて牽牛織女兩星の晴れの逢瀨を空にして地には歡喜と祝福が滿ち溢れ全市は七夕一色に塗りつぶされた此の盛觀は明日も續く

七夕に押掛けた 一萬名の乘降客

七夕列車を運轉遠く水戸原町、三春方面からも觀覽客を吸收した平驛の昨十一日の乘降客總數は九千九百七十名で昨年の九千七百六十二名より二百八名を增し收入も五十圓程增加、平日の約二倍に達したが今明の二日間はより以上の乘降客を豫想されて居る因に昨年の第二日目は一萬六千四百六十一名、第三日目が七千二百三名であつたと

雜踏中に 迷兒泣く

市內白銀町鐵道官舍文治さん次男米倉紀男（六）君及び內郷村御厩留七さん長女齋藤マサ（七）チヤンは昨夜の七夕祭雜沓中迷兒となり泣き叫んでゐたのを平署員が發見親元に引渡した

ラヂオ体操好績 既に一萬名增加

市內のラヂオ體操は既報の如く前年に比べ著るしい好成績を示し今十二日迄の參加延人員は四萬二千五百八十八名で平均三千五百名を突破目下の處昨年よりも九千九百十名の增加をみせてゐるが七日以後の參加人員は左の如くである

七日	三、一五三
八日	三、四一七
九日	三、五〇四
十日	三、四八九
十一日	三、三三七
十二日	三、三一四

体操會打合

縣下小學校敎員の體操講習會は既報の如く來る十四、五の兩日福島市に開かれるが出席する平市及び郡下敎員の打合せ會は今十二日午前十時から平第一校に開かれた

平檢車區が 無事故表彰

平檢車區は一昨年十一月以降運轉無事故で長崎東京鐵道局長から銅盃を添えて表彰され今十二日午後四時から局長代理高橋水戸運輸事務所長から傳達された、尙赤井驛も一昨年七月以降無事故により水戸事務所長から表彰を受けた

天氣豫報

今晩は南の風晴
明日も南の風晴

慰問金の 募集統一
町村長協議

石城町村長支會は昨十一日午前十時から平第三校講堂に開き慰問金募集の統一に關し協議した

好間村の 銃後運動

好間村の愛國婦人會、女子青年團、國防婦人會は今十二日午前十時から同村小學校に聯合總會を開き國防獻金及び銃後運動に就いて協議した

平湯本間のバス 今朝一齊に罷業
七夕の出盛を見て 卅餘名が秘密協議
平署事態重大視

平湯本間乘合バス十八臺は今十二日七夕祭り見物客の輸送繁激の折に乘じ午前十時から一齊に罷業狀態に入り目下運轉手及び助手三十餘名は市內訓官院前鈴木某方に集合秘密裡に協議してゐるが相當複雜した事情が伏在して居るらしく過般四倉合同バス運轉手の罷業事件が未解決の折とて或は事件が擴大するのではないかと平署特高係はその成行を注目してゐる 午後一時記

呑み逃げ 三人男捕る

內郷村綴採炭夫佐川正（三四）佐川二男（三二）鈴川利吉（三五）の三名は昨十一日夜市內三丁目バー米久で四圓餘の只飲みをして逃走せんとした處を平署に檢擧された

痴漢の傷は 亭主の按摩に
剃刀で斬られたもの

既報久之濱街道で按摩の內妻を襲つた四倉町大字蜆川漁夫染谷芳之助（二六）は其後四倉署で取調べを受けてゐたが頸部其他の傷は暴行せんとした際傍らにゐた按摩のため剃刀で斬付けられたものと判明相當重傷らしいので同町額賀醫院で加療する事とし今十二日暴行未遂罪として書類のみ送檢され

七夕の雜感

☒七夕祭は二三年この方急激に盛んになつたこれは仙臺市の同催しに刺戟された影響を多分に含んで居る事は勿論であるが、五彩の短冊に郷土を飾る人々の勵みが、萬華鏡の美しさを現出する處に、躍進氣分の横溢を見る事が出來て心賴もしく感ぜられる。

☒北支事變に遠慮して本年はどうかと危ぶまれたが例年に較べて優るとも劣らぬ五彩の笹竹のトンネルは確かに盛觀たるを失はない、また一方七夕祭の景物とも云ふべき趣向を凝らした生人形や其他の飾り付けも事變を取材として仲々巧妙なものが多くなつた。

☒たゞ考へさせられる事は、景物の飾り付けにのみ主力を注ぎ過ぎる事は七夕祭の古典さに對する一種の反逆とも見られ、どうかと思はせられる向がない譯でもない。

☒矢張り七夕祭は笹竹の清新さ、そして彩る短冊や吹流しの美觀が人の心に優雅な喜びを感ぜしむるものであつて欲しいと思ふ、此の條件から云つて一丁目坂本紙店のもの等は比較的無雜なものと云はれやう。

☒ある店では犬の皮か何かで造つた馬に、軍人らしいハリカ人形を乘せてブラ下げて置いたが斯うなると、餘りに現實的なだけに獸皮の醸し出す汚感が人の眼をそむけしめ典雅な氣分が破壞される、

☒七夕は夜間の觀物である、それにしては一般に照明が足りぬ恨みがある流石に二丁目日東商會等は商賣柄、惜し氣もなく電光を費つて居た、一丁目和久井屋漆器店等も此の點に就いて仲々苦心の跡が現れて居る。

☒飾り付けも靜から動への發展が見受けられるを此の點では中野洋品店の飾り窓に踊る人形等、簡單ではあるが仲々に面白い見ものだ、殊に商品や店內との調和がとれて態とらしい感がない。

☒三丁目は七夕の發祥地とも云ふべきで此處には七夕の神樣とも云はれる大谷時計店や廣告研究會で相當此の方面に智腦を働かして居るなかや洋服店等もあるので一般に上出來が多い、たゞ望むらくは此の道の先覺だけに餘りに凝り過ぎて思案にたがはぬ丈の餘裕を殘して置いて欲しい。

☒七夕も此處まで發展した以上は先に述べた照明の裝置と共にも一つ更らに『音』を取入れる事を注文したい、昨夜の本町通りにラヂオを擴聲して居る店が一軒もなかつた

☒笹竹の中に擴聲機を忍ばせてレコードを聽かせた店があるが是れ等は良い思ひ付きの一つで、此の方法は更らに飾り付けとタイアップして趣向を凝らせば一層興味あるものとならう。

☒笹竹の飾り物も其の店の獨特な調子を發揮する上にある程度の宣傳物を加へてはどうだらう、魚屋は魚の飾り付け、菓子屋は菓子屋らしく、夫々の業態に依つて一目その店の商賣が肯ける樣なのも面白いと思ふ、土橋の鹽屋等のも此點から滿點の價値がある。

☒年中行事の一つとして確かに平市の七夕祭は人々の眼を豁かす觀物として他地に誇り得る境地に到達した、此の催しを一層有意義化せしむる上に郷土人の協力を切望して擱筆する。

活況豫想の 郡下馬市
來月廿三日湯本町に

本郡下の馬糶市は來月二十三日湯本町に開設される、今年は時局柄高値を呼び市場開設と共に近年にない活況を呈すであらうと早くも飼養者を始め一般關係者は非常な張り切り方で出場は約五十頭の豫定であると

第三校に 階梯寄贈

市內月見町佐藤源吉氏は此程第三校に兒童の遊戲用『階梯』を寄贈した

水戸運輸 所長來平
七夕視察に

高橋水戸運輸事務所長同湖江運輸係長は今明の兩日同松本營業係長は十一二の兩日いづれも七夕祭の狀況視察の爲め來平した

家出少年
平署へ搜索願

川前村大字川前字山下谷二八農大川原茂長さんは長男の芳平（一七）が去る十日午前五時頃無斷家出好間村炭礦方面に働いてゐる形跡がありますからと今十二日平署に出頭これが搜査方を依賴したが同人は今春四月頃も家出して勿來町大日本炭礦に働いてゐたところを家人に發見され連れ戻されたこともあると

密行中の捕もの
海水浴場荒しの青年

昨十一日夜平署員が湯本地內を密行中徘徊する擧動不審の男あるを發見檢擧したが同人は宇都宮市中河原町洗濯業吉澤忠雄（二三）といひ去る二日茨城縣多賀郡河原子町鈴木彌平次氏方へ海水浴で泊つてゐた宇都宮市今小路餅頭製造業鈴木德次郎さんの現金二十八圓餘在中の蟇口を盜んで逃走中のものと判明目下餘罪追究中

日曹硫安 工場敷地
小名濱町會

小名濱町は來る十四日午前十時から町會を開き鮫川疏水寄附金及び日曹硫安工場敷地其他を附議する

最終の鰹漁
磐城丸が活躍

本縣水產試驗場指導船磐城丸は目下鰹漁業最終の出漁中で鹽谷岬沖合で鰹八千尾を漁獲したが一萬尾漁獲してから歸港する旨報告して來た今回歸港すれば船體の小修理漁具積込等終了次第九月二十日から一般に解禁する秋刀魚の漁場調査に出漁する

熱苦しい試驗場
眞劍味横溢の受驗少年
日立の見習工

日立製作所の見習工採用試驗は既報の如く今十二日午前十時から平第一校講堂で日立の北條社員が試驗官となり數學、國語人物考査メンタルテストを行つたが受驗者八十名何れも職業の第一線に立つて活躍しやうとする少年達だけに熱苦しい試驗場は眞劍味が溢れ涙ぐましい情景を呈してゐた、結果發表は四五日中

家族慰問
軍友會寄附

平軍友會は國防費として二百圓、また五丁目吉田屋靑物店は三圓を軍人の家族慰問金としていづれも今十二日市役所へ寄託した

木炭理事會

濟三郡木炭同業組合の理事會は今十二日午後一時から平團體事務所に開かれた

常陽支店長 病氣快方に

中山常陽銀行平支店長は病氣のため那須溫泉で靜養中であつたが既に全快した爲め昨十一日夜歸平した

鐵道局長來平

長崎東京鐵道局長は來月一日平地方を初巡視する

キネマ

◇世界館 松竹トーキー主婦之友連載、上原謙、川崎弘子、佐分利信主演『人妻椿前後篇』新興キネマ大作トーキー大友龍太郎主演『勤王田舍侍』讀賣、河北事局ニュース料金二〇セン

◇平館 日活特作、中野かほる主演『護國の母』日活特作、高瀨實乘、鳥羽陽之助共演、『極樂三度笠』日活特作岡譲二、原節子主演『生命の冠』三日間（一〇セン）

平市人事

回出生

△白銀町鐵道官舍一六ノ一神谷金五郎氏三女芳江さん
△彌宜町七鈴木健吾氏三男三民さん
△白銀町九佐藤一郎氏三女恭子さん

回婚姻

△白銀町一五加藤武久（三三）氏茨城縣久慈郡太田町二三〇〇沼知登志子（二五）さん

平職業紹介所

☒求人の部
△女工　四十歲迄　給料面談　尋卒程度
△鐵工　三十歲以下　給料面談　尋卒程度
△採炭夫　十八―四十才　給迄　日給一圓五十錢　尋卒程度
△印刷工　年令不問　委細面談　尋卒以上
△土工夫　敎育年令不問　日給一圓二十錢
△雜夫　敎育年齡不問　日給七十錢
△牛乳配達　三十才位　給料面談　高卒程度

☒求職の部
△鐵工　三十一才　尋卒
△雜夫　二十二才　高卒
△土工夫　四十九才　尋卒
△漁夫　三十才　高卒

JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇 天然記念物めぐり 上田壽
▼後六、三〇 夏休ラヂオ双六
▼後七、三〇 講演「心身の鍛練に就て」小泉軍醫中將
▼後八、〇〇 軍歌獨唱 皇軍慰問愛國音樂會（日比谷公會堂中繼）
▼後八、三〇 琵琶「本能寺」半田錦崇
▼後九、〇〇 講談「眞田の入城」神田鯉松
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前七、〇〇 朝の修養「日本高僧傳」眞宗禿氏祐祥
▼前八、四〇 婦人夏期講習「簡單な婦人服の作り方」田中千代
▼前一〇、三〇 家庭講座「血液型に關する問題」木口直二
▼前一一、一〇 全國中等野球…甲子園球場中繼
▼後〇、〇五 箏曲「瀧」「五段砧」山登松和他
▼後〇、二五 國民歌謠 オリオンコール
▼後六、〇〇 天然記念物めぐり「市村塘」金澤
▼後六、三〇 夏休みラヂオ双六
▼後七、三〇 室內樂 ベートーヴェンの「ピアノ三重奏曲第五番」東儀哲三郎
▼後七、三〇 長唄「石橋」杵屋六左衛門他
▼後八、二五 浪花節「大石內藏之助山科の血淚」京山小圓
▼後九、〇〇 時事解說「今議會を通過した重要法案に就て」樋貝詮三

以心院新盆に相當り申候處時節柄甚だ勝手ながら佛前提灯其他供物等一切御辭退申上候間不惡御了承相成度御願申し上候　敬白
內郷村字小島
加藤政英
加藤とき

亡妻儀新盆に候處誠に勝手がましく候へ共時節柄提灯其他供物等御辭退申度御了承御願ひ申上げ候
古鍛治町
久保木林之助

亡妻儀新盆に相當り候得共時節柄提灯其他御供物一切御辭退申上度候間御諒承願上候
平市堂ノ前
石田吉五郎

亡父豐吉儀新盆に相當り候得共誠に勝手がましき御願ひ乍ら提灯其他御供物等一切御辭退申上度此段謹告候也　敬具
平內六間門
大和田忠良

白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫

白柄組惡化（十三）

『俺の。この美男子を大ぜいの奴等が斬らうと狙つてゐたから、逃がしてやらうと唯一人だけ人身供養にしたまでだ』

『あつ。判つた。きつと松平樣と間違つたのでござんせう』

『俺もさう思つて居る。早く酒を持つて來いよ』

『あい』

とおろくは手を輕く叩いた。

彼方に返辞があつて、小走りに來る衣摺れの音がしたが、酌女のお蝶といふ丸顏の愛くるしいのが來た。

『おろくさん御用でござんしたか』

『どうかお酒をね』

『あい』

と、お蝶は去つた。

主水は待兼ねたやうに、おろくの方へ膝を押進めた。

『どんな具合であつたか。その後の話は……？』

『さう〳〵肝腎な話』

と、おろくは又立上つて障子の外を見廻してから主水の傍へ來て坐つた。

『どうやら二三日中に紀州樣の御家來とかと、近藤樣に阿部樣のお一人がお會ひなさるらしうござんした』

『二三日中に……そしてその場所は』

『それが判然いたしませんが……？』

『困つたな』

と、主水は腕組をつくと、源太は心得顏に主水の肩をポンと輕く叩いた。

『大丈夫ぢや。[illegible]近藤の容子を探ればな。大坂見物がつくよ』

『左樣でございましたな』

と、主水も微笑をもらした。

お蝶とおしまの二人は銚子と盃を添へて靜に入つて來た。

おろくはそれを受取つて先づ盃を源太の方へさした。

『大黑寺殿。さあ久し振で醉させて下さんせ』

『うむ。好し。そちの酌で飲むと一層酒がうまい。だが併しおろく。こゝに居る俺の女房に惚れては相成らんぞ』

『いゝえ。あたしや[illegible]をいたしました。大黑寺殿。それが戀うございますかい』

× ×

源太はおろくのつむじ曲りであることを能く承知してゐるので、此後の利益から打算し、おろくの望むまゝに主水を殘して立去つた。

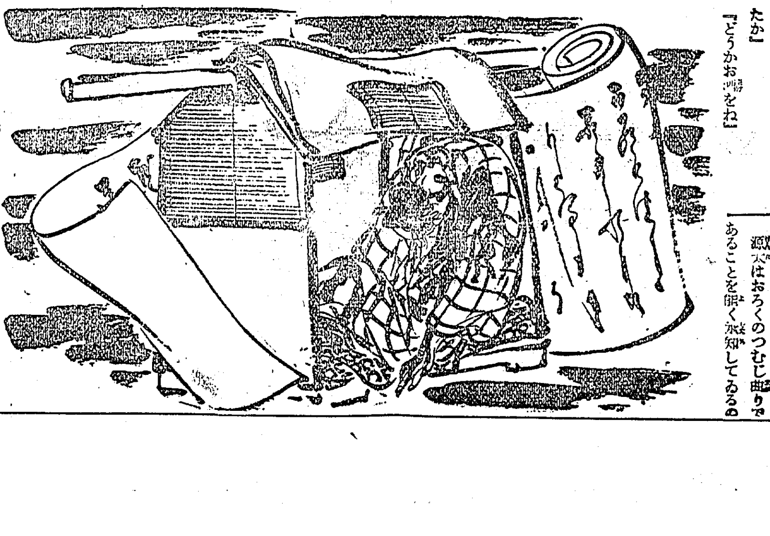
が、彼一流の皮肉なことは、提婆の鐵藏の死骸を駕籠にのせて、屍に一通の書面を添へて花川戸の長兵衛の家へ送らせたのであつた。

長兵衛は鐵藏の死骸と書面を見て、苦い顏をしたが、しかし何事もそれについては云はなかつた。

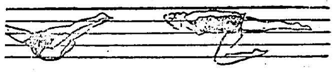
『どうせ小左衛門のために生にへになつたのだらう』

と、長兵衛は默つて俯向いてゐた權兵衛に向つて云つた。けれど、長兵衛は法要長兵衛の膝に跪して、その身內であつた小左衛門の[illegible]は口にしなかつた。

其翌日以來、權兵衛や長五郎の水野十郎左衛門に對する反感と憎惡は俄に激しくなつて來た。



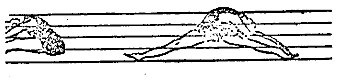
◎パン粉の代用に焼麩 パン粉のないときは、焼麩を網にのせ、弱火でこがさぬやうにからつとあぶつて、もみこなしますとパン粉の代用となります



注意すれば防げる 慘めな溺死者

水の犠牲は驚く程増えて來た 之丈けは心得て

泳ぐ前に充分注意し、その海や川を研究してゐると充分にふせぎ得ることです。皆さんは健康のためにおよぎに行かれるでせうが、一番大切な命をうしなふやうでは何にもなりません。これだけは心得てゐて下さい



こんな方は水泳禁止

時間や場合や水泳前後 一般的な注意事項

（一）水泳を禁止しなければならない人…癲癇、腦貧血、腦充血をおこしやすい者、心臓病、糖尿病、脚氣、ぢ疾、ぼうこうカタル、腎臓病その他の病氣で發熱ある者、耳疾、眼疾ある者、筋肉の痙攣をおこしやすい者、幼兒及老人

（二）水泳を禁止しなければならない時……月經の時、食事の直前直後、睡眠不足の甚だしい場合、水温が甚だしく高低のある時（攝氏二十二度以上―二十五度位が最適）

（三）水泳の時間 水泳の時間は水の中にゐる時間とおよぐ時間の二種がありますが、永い時間つゞけて水に入つてゐるよりも一回十分位宛數回入る方がいゝ。一般遊泳の時間は午前中が一番よく夜間は危險が多い

（四）水泳中の注意 決し[illegible]をしない事。太陽が頭から照つてゐる時は、時々頭部に冷水をかける事。遊泳中に決して飲食をしないこと

（五）水泳後の注意 淡水で身體をよくあらひ、特に眼、耳を清潔にする事。充分身體を拭きかわかしてから着衣する事、特に海水の場合は入念に洗身しないとヒブクレになる恐れがある

（六）水泳の場所に關する注意……

（イ）海の場合 安全なる地域を選び、潮の差し引きを考慮すること。貝殼其他危險物に注意して、海水帽、足袋等の用意をわすれないこと

（ロ）川沼の場合 流の緩急、深淺の度合を注意し特に淺瀬、杭、藻等の危險に對しては充分調査すること

（ハ）プールの場合 お互の衝突をふせぎ、競爭心からみにくい爭ひ等をせぬ樣にする事

以上の他に一般的注意として、溺死の原因の第一が技術の不鍛錬による事を考へれば、水泳の餘り上手でない人が幼兒、婦人等を同伴する事はつとめて避けねばならない。又是非その必要があつたなら熟練者の監督又は浮袋其他の救助道具を携帯する事をわすれてはなりません

泳ぐ前には？ 遭難したら？ 溺者を發見したら？

（一）まづ軽い全身の準備體操をする、特に手首足首の關節をよくうごかす

（二）はじめてはいる場合は除々に身體をひたし、決してイキナり飛び込んだりしない事

（三）耳眼は特に注意し、耳栓（木めん綿にオリーヴ油をひたしたるのが最適）を用ひる

（四）あらかじめ放尿し身體各部に異常のなきことをたしかめる事

以上の諸注意を實行してほしい事は勿論ですが

萬一 それでも誤つて遭難した場合はどうしたらいゝかこれもおぼえてゐてください

（一）波にまかれたら身體をまるくしてヂーッとしてゐれば岸に上げられる

（二）海の水にはなかなか人體は沈まないものです、疲れてもあせらずに大聲で救ひをもとめなさい

（三）筋肉痙攣は一時的現象の場

（四）係員其他の場合はつとめて元氣を失はずに、他人の注意を呼びあつめる樣に努力しなさい

最後にこれと反對に若し溺れてゐる者を發見した場合は、どうしたらいゝか

先づ 餘程水泳に自信のある人でないかぎり、直に飛びこんで救助にむかふのは考へものです。さうした場合相手にからみつかれて自らも溺死する例が少く

げるとか、竿などを利用して岸へ近づけるのがいゝでせう。又自分が大聲をあげてさらに他の人を呼ぶとか、最寄の交番や人家へ速報するのも一つの法です。かうした場合勿論急を要するのは云ふまでもありませんが、徒らにあわてゝ右往左往し、かへつて助かるものをうしなつた例もありますから、あくまでも落ちついて、しかも迅速に救命につくす事が肝要です

速くよく煮るには 鍋をお撰び下さい

金屬と熱の關係

○…熱しやすくさめやすいのは人間ではと角、金屬その他の材料ではうごかすべからざる原則です熱しやすいとは熱を速く吸收して傳へる事です、さめやすいとは自分の熱をはやく放散する事です、これは同じ現象で出入の方向が逆なだけです

○…熱しやすくさめやすい順序に金屬をならべると、銀、銅、金、アルミニウム、鐵の順序です、熱を傳へる速さは鐵は銅の七分一、アルミニウムの四分一位よりありません、もし空鍋かけるなら、鍋の内側が熱せられるのは、この位の割合にしかなりません、また熱しやすいもの程、一樣に熱がひろがります、ですから、小さな火をおこしておいて、大きな鍋をかけたら、熱せられやすいもの程熱が一樣に傳はります、中の汁は熱を傳へにくいから、鍋の底の厚いもの程よく熱をひろげます、それで、専門の板前は鍋の厚い鍋を用ひるのです、かうすると、速くて一樣に煮えるからです、玉子焼の鍋なぞ、女には片手で持ちあげられない樣な厚くておもいものが、使ひいゝのです

○…アルミニウムの鍋も鐵鍋よりずつといゝのですが、もし、銀の厚い鍋が使へたら、これに越した事はありません、銀ならさびず、味もわるくならずに理想的です、アルミニウムでも、この意味から肉の厚い鑄物の鍋の方が、薄つぺらな打出物よりずつと煮物が樂です

○…しかし、熱しやすいものはさめやすし、かう云ふ熱しやすい鍋で料理したなら、出來あがつたらすぐお椀か瀬戸物のふた物にうつしてしまはないと、折角の料理もひえて味も何も大なしです

「噺家は眞ッ平」 落語家の伜は

いづれも秀才揃ひ 娘は中學へ伜は家政學校？

蛙の子は蛙で、今の圓右、小圓朝、芝樂、桃太郎、金語樓など、いづれも親父の商賣をうけついで一パシ眞打株になつてはゐるが、それなら總て落語家の伜は親父の後をつぐかと云ふと、さうでなく「ハナシ家は親父一代限り」とばかり他の方面に進む者がトテモ多い、今は亡き鼻の圓遊の伜が舞踊の名手若柳吉藏となつてゐるが、さてその他の顔々を擧げて見ると

三升家小勝 長男は若柳吉藏門下で既に吉次郎の名取り、娘は西川喜代春門下で喜榮春の名取り、花柳、西川と別れた兄妹が舞踊界に覇を爭ふ時代もやがてはあらう、乃で小勝の曰く「伜は勝彌といふハナシ家にしたんだが、中途で吉藏さんの處へやつちまつた。ハナシ家になつて女の子に惚れられて見ねえ、俺みてえに七十九まで苦勞しなくちやならねえ」

これで伜に意見を云ふ小勝の顔が見たいものだ

桂文治 長男は明大を經て卒業、次男は長唄を志し岡安喜四郎の名をもらひ精進をつゞけてゐる

柳家小さん 長男は中學にかよひ、娘は家政女學校の生徒、處がこの伜親父に似てマメで器用な性質、服のほころびから洗濯、アイロンまで自分でやれば料理も手傳ふが、娘の方はスポーツ映畫、レビューなど新らし好きなので、小さん「いつそ娘を中學へ伜を家政女學校へ上げればよかつた」

春風亭柳枝 伜は精華學校で長唄の稽古に精進、すでに結婚談も持上つてゐる、この間娘が出演した映畫「スリの[illegible]」を見た伜が「お父さんクローズ・アップになるとメーキアップが拙いや」さすがの親父も映畫論では伜に一目置く始末

立川談志 高等二年生の伜だが、親父十八番の「反對車」を聞いて「お父さん、もう人力車と云ふ時代ぢやありませんよ、圓タクと改作しちやアどうです」と親をおもふ伜の心づくしに親父すつかり感激したと

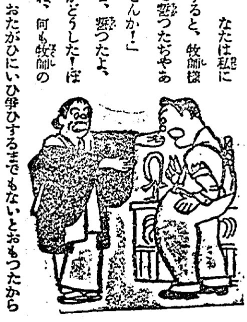
柳家蝠丸 滑舌愛談でお客からヤンヤと喝采されるが、娘さへまはると「お父さんは元八百屋からハナシ家になつたんだから勉強が足りないんだよ」と、伜から新しい學問を教はつてるなどは罪がない

丸一小鐵 また七つになつたばかりの伜だが、親父が三度の飯より野球が好きなので、見やう見眞似で伜もそのとほり「お父ちやんツーボールの次の球は見逃さなくちやいけないんだよ」と中々の野球智識、この天晴にして前途有望な伜は是非、小學校から早實、早大と入學させて野球選手にするんだと親父今から大さわぎ

桂小南 たつた一人の愛娘がゐる、取つて二十四歳、身長五尺二寸一分、體重十二貫強、高杉早苗や坪内美子に似てゐる器量好、東京實踐女學校出身で、趣味は洋裁、作句、和歌に花も活ける、若い時には火鉢へ炭團もいけると云ふ多藝多能さ、第一に結婚を申し込んだのが誰あらう馬風であつたが忽ちノックアウト、前日五十錢借りて翌る日口説いたんだから無理もないが、それ以來ハナシ家は大きらひ、たゞしお父さんだけは好きだとある

面白帳

默つて結婚

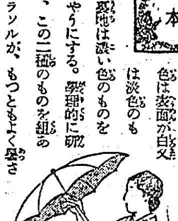


妻「結婚式のときのことを教へてごらんなさい！あなたは私に服從すると、牧師樣の前で誓つたぢやありませんか！」

夫「あゝ、誓つたよ、それがどうした！ぼくはね、何も牧師の前で、おたがひにいひ爭ひするまでもないとおもつたからさ！」

奥様讀本

あつさをさへぎるパラソル



暑氣をさへぎるためのパラソルは、一重張りのものより二重張のものがよい。布地の色は表面が白又は淡色のもので、裏地は濃い色のものをえらぶやうにする。衛生的に研究して、この二種のものを組合はせた二重張のパラソルが、もつともよく暑さをさへぎる効力がある。お買ひになる時の御参考に。」

ロースの作方

雞肉をロースとするときにはあらかじめレモンを半分に切つたもので雞が一羽ごとのときは腹の内側から外側をよくこすり、肉片なら全部をこすつておきますと焼きあがりの肉が白くそしてやはらかくなり美味しく頂けます

から子と刺身

夏むきのさしみにはワサビのほかに、ちよつとから子をそへると、傳染病の流行するときでも、絶對に、安心してたべられます。どんな刺身でも、から子にあへば、忽ち殺菌してしまひます

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀬春映（畫）

赤いポスター（一） 二二七

軍艦に飛込むと本牧の女を、はじめ、世界中の女を買ふによいといふことを暗示したつもりだらうが、ボルトメンは、この日本の女の容姿から、やつぱりお瀧が連想されてかなはなかつた。

ボルトメンは、ヴアンクーヴアに見切りをつけて、飄然とニューヨークへやつて來たのは、お瀧が戀しかつたからだ。

そこで、ニューヨークに着くとすぐにホテル銀翼の地下十三階にやつていつて、お瀧のありかを探つたが、それは無駄だつた。誰一人お瀧の行方を知るものもなかつた。

ボーイの一人にきいてみると、

『たぶん、クーパー博士と、東洋を漫遊してゐるのでせう』

といふ返事だつた。

「東洋へ」

『さうです。博士は、東洋へ旅行されてから、もう半年以上にもなりますが、まだ歸つていらつしやいません』

『どうして歸らないのか』

『どうしてつて、日本が好きになつたからでせう。たぶん、お瀧さんの故郷に落着いて、後半生を日本で送る考へかもしれませんよ』

『ピコル社長はどういつてゐる』

『やつぱり、それと同じことをおつしやつてゐられます』

『博士は、日本が嫌ひな筈だよ』

『でも！』

『いや、排日派の急先鋒なんだよ。日本を憎惡してゐるために、ピコル氏といつしよに仕事をしてゐたのも、日本を苦しめようといふためなんだ。その博士が、どうして日本を愛し、お瀧さんの故郷で晩年を送らうといふ氣にならう』

『でも……ちや、ピコル社長にうかゞつて、そのことをたしかめられたらいかがです』

『ピコルと會ふわけにいかない、あの男は、わしの顔をみると、すぐにつかみかゝるにきまつてゐる』

そんなわけで、直接ピコル氏に會つて、クーパー博士とお瀧の行方をたづねるわけにいかなかつたので、ボルトメンは、相變らず、ニューヨークの街々を、悄々として歩きまはつてゐる。

古ぼけた服を着て、破れた靴をはいて、ズボンのポケットに兩手を突つ込んだまゝ、マドロスパイプを横にくわへて、のつそり歩いてゆく姿は、妙に淋しいものがあつた。

その、時代に取殘されたやうな淋しい後姿と對照して、ニューヨークの街々は、なんとなく活氣を呈してゐた。

それは、戰時氣分が、どこかに横溢してゐるからだ。海兵募集のビラが、辻々に掲げられてゐるだけではなく、誰も彼も、ニューヨークの全市民の話題が、太平洋戰爭で持切つてゐるからだ。

戰爭へ……。

太平洋へ急げ。

こんな叫びが、どこからかきこえるやうだ。

アメリカ無敵艦隊は、遂に太平洋に出動した。

アリューシャン群島に、

ハワイに、

フイリッピンに……。

わが、精鋭なる艦隊は出動し、強大なる空軍は、すでに太平洋を睥睨した。

こんな、新聞記事の斷片をひろつてみても、戰の匂ひが感じられる。

『戰爭がはじまつたのかな』

ボルトメンは、小首を傾けた。

『戰爭が始まつたのかな』

かう考へるのは、ボルトメンだけではあるまい。ニューヨーク市の、戰時氣分を、まのあたりみ、これを感ずる人々は、誰しも、

戰爭？……

と眼をみはる。

しかし、他の一面では、ニューヨーク市は、平日と少しも變るところはない。『戰爭なぞ、どこでやつてゐるのか……』といつた風な、市の横顔だ。

旅舍 大幸館
私は平市出生ですから特に郷里の皆様方の爲に御便利を圖ります
主人 比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

美味！ 芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奨め致します
入會隨時
喜多流謠曲仕舞 白土會
平市田町六九
電話一二七番

外科内臓外科
X光線科 院長 安齋徹
—新設—
産婦人科 醫學士 黒澤廣
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

亡父賢治儀新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度候間何卒御諒承願上候
平市二丁目 魚清食堂
鈴木清

桂照院清光妙榮大姉新盆に候處時節柄提灯其他供物御辭退申上度右不惡御了承願上候 敬具
平市白銀町
高橋龜松
大原虎二

亡母 慈生院新盆に相當候へ共佛前への御供品等一切拜辭可仕候間御諒承願上候
平市二丁目
長瀬延太郎

常光院新盆に相當り申候處甚だ勝手ながら佛前へ提灯其他供物等一切御辭退申上候間此段不惡御諒承之程希上候
平市二丁目
坂田藤助

新研究の榮養化粧水
三共パパコロン
新製品
南洋の珍果パパイヤの果汁から抽出したパパイン酵素應用の特許新化粧水です。ニキビ・ソバカスの痕を消しスベスベしたお肌に若返へります。
一本 35セン
尚發毛料として評判のヨウモトニツク姉妹品ヨウモト香油（￥.60）もあります。
三共株式會社製品總代理店
（平市） 西村屋薬局 （電3）

花柳病科 外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際 電話三九一

國旗と提灯
平四 スガヤ

重田眼科
平市田町
醫師 重田泉治

良酒と洋食
經濟本位

毎度有難う存じます
レストラント
平商舘
電624

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平市紺屋町
電話三六六番

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話六八番

内科 外科 一般
金成醫院
金成忠義
平市鍛冶町電話三五八番

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

磐城セメント會社特約店
久
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

難波醫院
内科一般
看護婦募集
醫學博士 難波睦
平市大町新川端
電話五〇二番